

令和3年度 第2回 地域包括支援センター運営協議会議事録

日 時 令和4年3月28日（月）19：00～20：00

場 所 WEB会議

※会場参加者については中央保健福祉センター（すこやかプラザ）6階 運動実習室

出席者 千住会長 永島副会長 太田委員 中村委員 吉田浩一郎委員

吉田佐代子委員 永木委員 横田委員 久田委員 橋川委員

<事務局>

吉住保健福祉部次長兼課長 七種課長補佐 大石主査 岩本主査 上地主査 福井主事

議事概要

- (1) 佐世保市地域包括支援センターの移転について
- (2) 令和2年度佐世保市地域包括支援センター業務評価について
- (3) 令和4年度包括的支援事業業務委託について
- (4) 令和4年度佐世保市地域包括支援センター運営方針及び事業計画について
- (5) 指定介護予防支援の一部委託について

【千住会長】

それでは議事を進めます。事務局からの説明を受けて、事前の質問も含めて、質疑は後程まとめて行うこととします。それでは、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(説明概要)

佐世保市地域包括支援センターの移転について

◎中部地域包括支援センターの移転について

- 令和4年1月1付けで、同じビルの5階から4階へ移転。
- 佐世保市上京町4-4永田ビル5階に設置されていたが、5階は狭く、個室は相談室の1つしかない状況で、令和2年度に職員の1名増員があったことや、新型コロナウイルス対策のためのスペース確保が必要になったことで、広さが足りていない状況であった。
- 同ビル4階は5階より広く、職員同士の間隔の確保が可能になり、個室が多いことからWEB会議等での個人情報の流出を防止できることや、ネット回線の入りもよいことから、移転の申し出があったもの。
- 変更内容については階が変わったのみで電話番号等に変更はないため、地域住民の利用に影響はないと考える。
- 周知については、民児協での報告や、添付資料のチラシを地域住民数百世帯への配布にて行った。

【千住会長】

報告事項について何かご質問、ご意見ありませんか。

(意見なし)

承認とします。

【事務局】(説明概要)

令和2年度地域包括支援センター業務評価について

- 評価表は、令和元年度まで利用していた市独自の評価表をベースに、国や県が行う調査票にしかない内容を追記したもの。
- 令和2年度の業務評価は、「はい」「いいえ」の2択。
- センターは適切、公正かつ中立な運営を目指すために、各業務の評価を行うことになっており、運営協議会の意見を踏まえ、次年度の事業に反映させることとなっている。
- 評価についての経過
令和3年4月 7日 地域包括支援センター業務評価の実施についての通知を受託法人宛に送付。
令和3年4月30日 通知を受け、地域包括支援センターにおいて自己評価後、全包括が提出完了。
令和3年8月 5日 業務評価表(自己評価)の受理後、全センターの現地確認実施。
～ (センター長はじめセンター職員、法人担当者同席の上、聞き取り確認等を実施)
令和3年8月13日 自己評価内の表現の修正や、確認の結果、自己評価の変更により、最終的に提出された業務評価表は、資料のとおり。
令和4年3月11日 業務評価結果を受託法人へ送付。
- 評価結果の概要については、全センターにおいて、市の運営方針及び計画に基づき業務を実施できているとの評価をしている。ただし、コロナ過において、訪問やケア会議の開催が難しく評価が下がったセンターもあるが、感染対策を行ったうえでの訪問やWEB会議によって、業務が行えるようになってきているように思える。
- 業務評価に関する質問については事前にいただいており、別紙のとおり回答。

【千住会長】

報告事項について何かご質問、ご意見ありませんか。

(意見なし)

なければ、事務局にお渡しします。

【事務局】(説明概要)

【早岐包括支援センター】

◎活動目標

- 介護予防・重度化防止に向けて、日常生活におけるセルフマネジメントやオーラルフレイルに視点をおいたアセスメントを実践する。また、地域ケア個別会議や地域活動などから把握した地域課題について、生活支援コーディネーターなど関係機関と情報共有し「支え合いの地域づくり」を推進する。
- 民生委員など地域の方々からのご相談や通いの場での物忘れ相談プログラムなど、認知症と疑われる方の早期発見に努め、必要に応じて医療や介護サービス利用などの対応を図る。徘徊が心配な方は「佐世保市認知症高齢者見守り支援事業」など、認知症に対する施策を積極的に活用しご本人やご家族が地域の中で安心して生活が継続できるよう支援する。

◎課題

- コロナ禍において様々な地域活動が自粛されるなど、外出や地域の方々と会う機会が減ったことで、体力や意欲の低下・認知症の進行が心配な高齢者が増えるおそれがあるため、感染予防対策を十分に講じながら、ご自宅訪問や地域活動支援など状況に応じた対応を図る。

【日宇包括支援センター】

◎活動目標

- コロナ禍においても、地域住民自身、高齢者自らが介護予防に取り組み、セルフマネジメントできる自助・互助の考え方の普及啓発と、見守り気付きあえる地域ネットワーク形成の促進

◎課題

- 相談件数増加や相談内容の複雑化が増して、業務量が増大している
- 包括的支援事業の機能を十分に発揮できるよう職員教育の充実

【山澄包括支援センター】

◎活動目標

- 令和3年度課題抽出会議においてオーラルフレイルが地域課題の一つとして、地域の歯科医師や地域ケア会議の助言者の言語聴覚士、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、生活支援コーディネーターと一緒に実際の地域の支援に移行することができた。令和4年度は、取り組んでみて気づいた課題を抽出し、地域、専門職も交えながら活動を行っていき、ネットワークや連携強化、フレイル予防を地域で展開する。

◎課題

- 低所得者や障がいをもつ子供を養護している高齢者など世帯の複数人に対して権利擁護を必要とする現状があり、地域包括支援センターのみの対応では支援が困難な状況がみられている。各専門職との役割分担や司法関係者との連携をケースを通じて取り組んでいく。

【中部包括支援センター】

◎活動目標

- 地域ケア個別会議等で把握した地域課題を分析、整理して生活支援コーディネーターと一緒に地域の支え合いの勉強会を協働で開催し、必要な具体的な支援内容を地域の関係機関の事業所にも理解と協力を得ながら地域づくりに努める。
- サロン参加者の高齢化もあり、フレイル予防の講話など積極的に行い、住み慣れた地域で生活が維持

できるようにサロン継続支援に努める。

- 軽度認知症高齢者の把握と早期介入に努める。

◎課題

- 利便性の良い環境が整った地域の認知症がある高齢者は生活に大きな支障がないので自覚もなく、介入(支援)が難しく、周りの方も気づかないケースが増えてきている。オートロックのマンションで生活されている独居高齢者の生活状況の把握がむずかしく、介入が困難。民生委員の方も情報が得られないので把握ができないと頭を痛めている。(独居高齢者の情報がもらえない)

【清水包括支援センター】

◎活動目標

- 個別地域ケア会議から見てきた地域課題の解決へ向けて、社会資源の発掘や開発を積極的に行う。また重度化予防と自立支援に向けたケースの支援と並行して引き続き包括的な地域づくりを行う。コロナ禍による社会参加や役割などの減少があっても、介護予防への自助努力や自己管理意識が向上できるようにセルフマネジメントの習得を支援する。
- 権利擁護事業として地域への普及啓発活動と制度の活用促進の取り組みを行う。
- 自主活動団体の活動内容の多様化と主体性を強化する。また感染症対策で活動自粛となっても代替えとなる活動の提案と活用を促しながら自主活動団体の継続支援に繋げる。
- 支援中である認知症 cafe の広報活動を積極的に行い、認知症に対しての住民の理解を深め、当事者やその家族にとっての居場所づくりを引き続き行う。

◎課題

- 総合相談の内容が多様化しており、困難ケースの対応など重層的支援に対して他機関連携を要するが、より専門的な支援を行うには今後も引き続き関係構築の働きかけが必要な状況である。
- プランナーの人員不足により個別ケア会議の回数が十分に行えない状況や円滑な支援が行えず支障がでてきている。

【大野包括支援センター】

◎活動目標

- コロナ感染症の流行により思うような活動が出来ない中、業務を行わなければならない為、引き続き感染症に関する正しい知識や予防対策を行いながら業務を行う。
- 包括に毎月寄せられる相談の中には、認知症、生活困窮、消費トラブルなど課題が多岐に混在しているものが増えておりその対応力が求められている。その中でも8050問題に関わる相談も多く、なお一層の職員の質の向上の為、積極的に研修等へ参加し自己研鑽に努める。
- 自粛期間の影響で高齢者の生活にも影響が出てきている為、重度化しない為の予防の普及啓発活動について、地域の実情を把握するとともに地域のサロン活動においても支援を継続する。

◎課題

- 職員の定着については通年の課題であるが、人材の確保と育成について対策が必要である。
- 業務の増大に伴い、今後は生産性の向上と円滑な業務遂行の為にタブレット導入などのICT活用を検討していく必要がある。

【相浦包括支援センター】

◎活動目標

- 『一人の「困った」をみんなの「よかった」に変えるような地域づくり』を継続して目指す。
- 抽出した地域の課題に対して、生活支援コーディネーターと協働しながら、かつ地域の各関係機関等地域の力を活用し、解決方法の検討・取り組みを行っていく。
- まだまだコロナ禍が続くと思われ、R4年度も感染対策を講じつつ、出来ないとききらめるのではなく、どうやったら目的を達成できるか手段や方法を検討し、業務を遂行していく。
- コロナ禍の継続に伴い、今後ますます閉じこもりによる高齢者の心身機能の低下が予測される。感染症予防に取り組みつつ、高齢者のセルフケア能力向上のための支援・環境整備や地域との連携を図っていく。

◎課題

- 包括職員の人員確保が困難な状況が続いている。プランナーの募集を1年中かけていても応募がない状況あり。今後、職員の退職者や産休を取る職員が生じる予定であり、頭を悩ませている。居宅介護支援事業所への委託も多くは持ってもらえず、件数が限られている現状。また委託に出す件数が多いことで、その委託ケースの事務的な管理にも時間を要するため、業務量が増える一端にもなっている。

【吉井包括支援センター】

◎活動目標

- 支援事業を更にスムーズに行う為、圏域の主任ケアマネ定例会の開催、生活支援コーディネーター定例会、佐世保市社協、民生委員、警察等と連携ができる活動を行い、地域ネットワークを拡大していく。認知症の早期発見早期対応に向けた認知症サポーター養成講座の活用、その他関係機関との連携を通し、認知症に対する、施策を積極的に活用することで、本人・家族が地域の中で安心して生活が継続できるよう支援する。

◎課題

- 高齢化、過疎化に伴い、地域の中で孤立する高齢者が増えており、更にコロナの影響で孤独死等問題が深刻化している。

【宇久包括支援センター】

◎活動目標

- 介護認定のある高齢者を毎月訪問しセルフマネジメント事業の定着に取り組む。
- 地域ケア個別会議(年4回12ケース、抽出会議1回)により抽出された地域課題を関係機関や生活支援コーディネーターと共有し、適切なサービス支援につなげられるようにする。
- 地域に出向き健康教育や健康講話をおこない生活習慣病とフレイル予防への情報提供をしていく。
- 認知症高齢者が地元で自分らしく生活ができるよう、認知症初期からどのように支援していくか手順を形式化していく。また、認知症カフェの充実やサポートができる体制を作る。

◎課題

- コロナ禍でもどうにか活動を行っているが、福祉サービス事業所の人材不足のため高齢者のサービス

利用に制限がかかる状況がある。地域には限られた事業所しかなく島外利用は不可能のため大きな地域課題となっている。

- 認知症高齢者が増えてきているが、専門医までつながらない。宇久地区内で認知症初期からの支援方法の体制づくりが必要と思うが、船の往来のため天候にも左右されることが多く、宿泊が伴うため家族の協力が求めにくく、専門医へつながらないことも一因でもある。

事業計画への質問については、事前質問をいただいていたので、別紙の回答のとおり。

【千住会長】

報告事項について何かご質問、ご意見ありませんか。

(意見なし)

なければ、事務局にお渡しします。

【事務局】(説明概要)

地域包括支援センターでは、委託契約をして実施している包括的支援事業と、佐世保市から指定をして、包括の受託法人でプランナーを雇って包括に配置し要支援者等のプランを作成する指定介護予防支援業務があります。

この指定介護予防支援業務については、一部を指定居宅介護支援事業者に委託することができるものとされており、その委託事業所については、指定居宅介護支援事業所として、当運営協議会の承認を受けることになっており、委託にあたっては、適切かつ効率的に指定介護予防支援の業務が実施できるよう、委託する業務の範囲、業務量に配慮することとなっています。

この一部委託の承認については、地域包括支援センターが公正中立の立場で委託を実施しているかの判断が必要ですが、当運営協議会は、年数回の開催となっており、事前承認は難しい状況でもあります。

そこで、各包括支援センターから指定介護予防支援委託届け出書が提出されましたら、過度な委託先が偏っていないか判断の上、佐世保市が随時決定し、事後となりますが、当運営協議会の承認をいただくことを、前回の運営協議会の際にご承認いただいていた。

今回追加となった事業所は、3事業所で、①スカイメディカルケアプランセンターたけお②こすもすケアセンター③在宅介護支援センターあいのうらです。委託の要件となる介護予防支援に関する研修を受講する等の必要な知識及び能力を有する介護支援専門員が従事する事業所であり、委託にあたって業務に支障のない範囲となっています。委員の皆様の承認をお願いします。

【千住会長】

ただ今の事業所について、ご質問、ご意見はありませんか。承認でよろしいでしょうか。

(意見無し)

承認とします。

【事務局】

ありがとうございます。

事務局からの説明は以上です。

【千住会長】

事務局からの説明について、何か質問はございませんか。

なければ、以上で本日の審議について検討を終了したいと思います。事務局に戻します。

【事務局】

委員の皆様方には事前質問にて忌憚ないご意見をいただきまして、ありがとうございました。

次回の開催予定は、新年度の6月から7月頃に予定しております。開催の際には、ご連絡をさせていただきますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和3年度第2回地域包括支援センター運営協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。